

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト 実施報告書

報告日	平成 28 年 3 月 4 日
主管学校名	大阪教育大学附属幼稚園
PTA 会長名	曲田 英樹

実施概要	主管校	大阪教育大学附属幼稚園
	交流校	大阪教育大学附属特別支援学校
	実施活動名	<ol style="list-style-type: none"> 1) サツマイモの苗つけ 2) タベのつどい 3) ふようバザー 4) 教養講座 5) 秋の芋掘り 6) PTA クラブ発表会 7) すもう会
	実施日時	<ol style="list-style-type: none"> 1) 平成 27 年 5 月 26 日 2) 平成 27 年 7 月 18 日 3) 平成 27 年 9 月 12 日 4) 平成 27 年 10 月 21 日 5) 平成 27 年 11 月 10 日 6) 平成 28 年 2 月 15 日 7) 平成 28 年 2 月 26 日
	実施場所	<ol style="list-style-type: none"> 1) 大阪教育大学柏原キャンパス内の支援学校畑 2) 特別支援学校 3) 特別支援学校 4) 幼稚園遊戯室 5) 大阪教育大学柏原キャンパス内の支援学校畑 6) 特別支援学校 7) 幼稚園遊戯室
	実施目的	本園 PTA 活動のひとつとして、特別支援学校 PTA 保護者および生徒との交流を通じて、特別支援学校への理解と保護者同士の親睦を深める。
	実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1) 特別支援学校高等部の生徒らと園児がサツマイモの苗つけを行う。 2) 特別支援学校 PTA 主催の夏祭り「タベのつどい」に園児とその保護者が参加。 3) 特別支援学校 PTA 主催の「ふようバザー展」にて販売するバザー品を募集し提供。 4) 幼稚園 PTA 教養講座として、特別支援学校保護者を講師に招き、子育ての話聞く。 5) 春に特別支援学校の生徒と植えたサツマイモを園児が収穫する。 6) 幼稚園 PTA クラブ所属の保護者による歌、紙芝居、手話などの発表。 7) 幼稚園主催のすもう会に特別支援学校小学部の児童らを招待する。
	実施方法	<ol style="list-style-type: none"> 1) 大阪教育大学柏原キャンパス内の支援学校の畑に年長児親子が遠足で訪問し、特別支援学校の生徒らからサツマイモの苗つけを教わりながら親子で苗を植える。また、秋の収穫までの水やりを支援学校生徒らに願う。 2) 招待状をいただき、タベのつどいに家族で参加する。 3) 幼稚園玄関ホールにてバザー品を収集し、提供する。バザーに子どもと行く。 4) 特別支援学校の保護者に来園いただき、当園遊戯室にて子育てについての講話をしていただく。 5) 大学敷地内の畑にて、春に苗つけをしたサツマイモを、特別支援学校の生徒らと共に収穫する。 6) 幼稚園 PTA クラブに所属する保護者らが特別支援学校に出向き、歌や紙芝居、手話などを発表し、特別支援学校小学部児童らに楽しいひと時を過ごしてもらう。 7) 幼稚園主催のすもう会に支援学校生徒らを招待し、力士と共にすもうを楽しんでもらう。
参加人数	在園児・在園児の保護者 各約 150 名	

	内容	<p>1) 毎年春の親子遠足の恒例行事として、キャンパス内の特別支援学校の畑にて、特別支援学校の生徒と共にサツマイモの苗つけを親子共にご指導いただきながら行います。特別支援学校の生徒が、苗つけの方法などを園児らに分かりやすいように工夫して教えて下さり、土に穴を掘り、苗を植え、水をやるという一連の作業を協力して行います。最後には、秋の遠足で園児らが収穫に訪れるまでの間の水やりを特別支援学校の生徒さんらに皆でお願いしてきます。</p> <p>2) 特別支援学校グラウンドにて軽食の販売、ゲーム夜店、ソーラン節（大学から）、会の最後には小型打ち上げ花火が披露されました。特別支援学校 PTA の方とも交流する機会となりました。</p> <p>3) 子ども向け用品（おもちゃ・文具など）、観葉植物、食器・トイレトペーパーなどの日用品、カバン、屋台（食べ物・飲み物）、卒業生の出店があり、どれもリーズナブルな価格でした。地元の方々、五校関係者などたくさんの方でにぎわっていました。</p> <p>4) 特別支援学校 PTA 会長の芝秀子様に幼稚園にてご講演いただきました。昨年度に引き続きのご講演となりましたが、今年は昨年度話された幼少時期から成長し、大きくなられたさとこさんの学校生活について講演いただきました。演題は「さとこちゃんのスクールライフ～日々コツコツと～」。</p> <p>5) 春の遠足で特別支援の生徒と苗付けをしたサツマイモを、秋に年長児が特別支援学校の生徒と一緒に収穫しました。</p> <p>6) 幼稚園 P T A クラブ（音楽クラブ、手話クラブ、お話クラブ）の保護者が特別支援学校に出向き、特別支援学校の児童らに歌や劇を披露しました。</p> <p>7) 特別支援学校の児童を幼稚園に招待し、春場所で来阪中の力士さんとすもうをとりました。</p>
報告事項	結果	<p>1) 畑に着くと、特別支援学校の生徒らが苗つけのポスターを使ってゆっくり説明して下さいました。苗つけは初めてという親子も多く、とても分かりやすい説明でした。畑の畝の間に座り、手を動かすと「穴が浅いかなあ」「苗を植え終わったら水をあげてもいい？」などと特別支援学校のお兄さんお姉さんに呼びかける子どもらの声がありました。</p> <p>2) PTA 役員 5 家族、PTA 委員 2 家族でタベのつどいに参加しました。浴衣姿の園児もおり、夏祭り気分でした。共に楽しむ特別支援学校のお姉さんを見て、「見たことあるお姉ちゃんが踊ってる」と口にするなど、交流した記憶が子どもにもしっかり残っていました。学校園同士の保護者の良い顔合わせの場ともなりました。</p> <p>3) おもちゃ、日用品などをリーズナブルな価格で提供されていました。特別支援学校の近辺の方々も多数来場されていて活気がありました。特別支援学校の活動を知るよい機会となりました。</p> <p>4) 特別支援学校（小・中・高等部）の行事をご紹介いただきました。それと共に地域の施設との交流や支援などについても詳しくご説明いただきました。ほとんどの幼稚園保護者が拝聴し、特別支援学校ならではの指導方法や考え方などに関心を寄せていました。保護者からの反響も大きく、ぜひ来年度以降も講演会の開催を、という声が多数上がっております。</p> <p>5) 年長児は苗つけと芋掘りを楽しみますが、日々水やりを続け、大切に大きくなるまで育てて下さったのは特別支援学校の生徒さんたちです。子どもたちも感謝の気持ちを伝え、なごやかな行事となりました。</p> <p>6) 楽しげに歌う様子に小学部の児童らも共に体をゆらして楽しんでいただきました。</p> <p>7) 子どもたちも特別支援学校の児童たちも本物の力士に大喜びで、土俵で力士と真剣にすもうをとっていました。大きな力士を相手に戦う友だちを互いに応援し合う姿も見られました。</p>
	所感	<p>1) 初めての交流という事もあり、園児らには緊張も見られましたが、共に作業をする事で緊張もほぐれ、年齢や言葉を超えた「顔合わせの交流」がスタートしたと感じました。</p> <p>2) 春から夏にかけて何度か交流する事で、知ってるお姉さん・お兄さんが出来ている事に驚きました。まだ一緒に楽しむまではいきませんが、少しずつ距離が狭まっています。</p> <p>3) 想像以上に地域の方も来られていて、とても活気のあるバザーでした。特別支援学校の保護者の方の活動を垣間見ることができてよかったです。</p> <p>4) 子どもより敷居が高いかもしれない大人同士が近づいた講演会でした。普段困っていること、うれしい事など生の声を聴ける機会は非常に貴重なものです。ぜひ今後も続けたい交流の 1 つです。</p> <p>5) 「サツマイモを掘る」という楽しい行事を、大きなお兄さんお姉さんと共におこなったという非日常が、子どもたちにより刺激となったようです。</p> <p>6) 特別支援学校の副校長先生から「わが校の児童らは歌がとても大好きなんです。」とお聞きしました。今後も、特別支援学校の児童さんらに喜んでもらえるような出し物を考えていきたいです。</p> <p>7) 子どもたちは、最初は緊張気味であったが徐々に力士と打ち解け、楽しいすもう会となりました。毎年みんなが楽しみにしている交流の一つで今後も続けていきたいです。</p>

写真

サツマイモの苗つけ



タベのつどい



教養講座



秋の芋掘り



PTAクラブ発表



すもう会



カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成 28 年 3 月 4 日
学校名	大阪教育大学附属幼稚園
学年	

【サツマイモの苗つけ】

- ・ 苗をもらってそれから土の中に植えたのが楽しかった。お兄さんがやさしかった。
- ・ グランドでも一緒に遊びたかった。
- ・ おもしろかった。見本を見せてくれたのでわかりやすかった。

【タベのつどい】

- ・ お兄ちゃんお姉ちゃんと一緒に踊って楽しかった。
- ・ 夜店でたくさん遊べた。やり方がわからない時、お兄ちゃんがやさしく教えてくれた。
- ・ お魚つりとポーリングが楽しかった。
- ・ 花火がきれいだった。また行きたい。

【ふようバザー】

- ・ ほしかったおもちゃを買ってもらえてうれしかった。
- ・ お兄さんたちがやさしかった。
- ・ たくさん人がきていた。お兄さんお姉さんがいらっしやいといってくれた。

【秋の芋掘り】

- ・ お兄ちゃんお姉ちゃんと初めてお芋を掘れて楽しかった。前に会ったお兄ちゃんたちと同じなのかわからないけど、久しぶりに会えてよかった。焼き芋が楽しみ。
- ・ お兄ちゃんが、葉っぱを切って掘りやすくしてくれた。大きなスコップで手伝ってくれた。お兄ちゃんの学校は喜連瓜破にあると話してくれた。
- ・ なかなかお芋がぬけなくて尻もちをついた。上の土は柔らかかったけど下の土は固くて掘りにくかった。お姉ちゃんやお兄ちゃんと一緒に楽しかった。
- ・ 土が固いところと柔らかいところがあった。難しかったけど上手に掘れた。お兄ちゃんお姉ちゃんが掘ってくれたらお芋が出てきた。
- ・ おもしろかったけどお芋が小さくて残念だった。お兄さんお姉さんが優しく手伝ってくれた。今度焼き芋するのが楽しみ。
- ・ なかなかお芋が見つからなかったけど、近くにいたお兄さんが手伝ってくれたらすぐ見つかった。
- ・ しゃもじで掘って芋が見えたらやさしく手で掘るねん。家に帰ったら何か作ろう。今度特別支援の人たちと焼き芋するねん。どうやってするのか楽しみ。
- ・ お兄さん、お姉さんがお芋を育ててくれたんだよ。うれしいな。

【すもう会】

- ・ 大きいおすもうさんと戦って、ぼく勝ったけど土俵からでちゃった。お尻がぼくよりこんなに大きくてびっくりした。
- ・ お腹が大きいおすもうさんに勝ったよ。うれしかったよ。おすもうさんともっと勝負したかったよ。
- ・ 足がまっすぐ開いて、体がぺたっと床にくっついてすごいと思った。
- ・ 楽しかったよ。大きかったよ。お腹も大きかったよ。

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日 平成28年3月4日

学校名 大阪教育大学附属幼稚園

【サツマイモの苗つけ】

- ・ どのような方が特別支援学校におられるのか知らなかったのが、大変勉強になりました。
- ・ 特別支援学校の方と自然な感じで交流できて、よかったです。
- ・ 優しく接していただきました。小さな子どもたちの笑顔を喜んでいただき、お互いにより経験ができたと思います。

【タベのつどい】

- ・ 初めて参加しましたが、手づくり感溢れるあたたかいお祭りでした。
- ・ 大学のよさこいサークルによる演舞の時は、特別支援学校の生徒さんたちや子どもたちが一緒に踊り、見ているこちらも楽しめました。
- ・ 屋台では保護者の方や多くの関係者の方のおかげで、子どもたちは楽しいひと時を過ごす事が出来ました。
- ・ ゲームの仕方がわからない時に特別支援学校のお兄さんやお母様が子どもたちにわかりやすく説明してくださりうれしく思いました。

【ふようバザー】

- ・ 特別支援学校の活動を知るよいきっかけになりました。特別支援学校の生徒さんだけでなく、保護者の方とも交流できるよい機会だと感じました。
- ・ 特別支援学校に地域の方々もたくさん来られていて、地域の方と親睦を深めるよい機会になっていると思いました。

【教養講座】

- ・ 親の感情を押し付けるのではなく、ごく自然体で子どもと向き合っていくこと、また子どものちょっとした変化に気づいてあげることの大切さを改めて感じました。頭ではわかっていてもなかなか実行できませんが、今日のお話をきっかけに、また新たな気持ちで子どもを見守り接していきたいと思いました。
- ・ お子さんのお話や反抗期の様子など共感を持ちながら聞きました。さとこさんが外の世界に安心して出ていけるのは、ひとえにご両親の愛情に包まれた日常生活があつてのことだと思いました。私も芝様のように大きな愛情を持って子どもを育てていきたいと改めて思いました。

【秋の芋掘り】

- ・ 行く前から楽しみにしていました。お兄さんたちが大切に育ててくれたから大きなお芋ができたことを伝えました。これからもこの活動を続けてほしいと思いました。
- ・ 普段、特別支援学校の方とあまり交流がないので、少しずつ分かり合っていってもらえたらと思います。このような交流ができるのも幼稚園のよさだと思いました。
- ・ 積極的な交流の機会を設けることで、子どもが豊かな人間性を育成していくと思います。保護者も交流できる機会が更にあれば子どもとの会話も広がると思いました。
- ・ 芋ほりの楽しい思い出と、特別支援学校の皆さんとの交流がよい思い出になるといいなと思いました。
- ・ 特別支援学校の皆様に本当にありがとうございましたと言いたいです。生まれて初めてのお芋掘りがよい思い出になりました。

【PTAクラブ発表会】

- ・ 今回は「手話歌」を発表させていただきました。「歌」のパワーで子どもたちがいきいきとした表情で発表を見てくれて、こちらもうすうすうしい気持ちになりました。発表してよかったと思いました。
- ・ 特別支援学校の子どもたちに楽しんでもらいたいという目標に向かって練習して参りました。子どもたちが目をキラキラと輝かせて見てくれている姿に感動いたしました。楽しい時間が共有できたことに感謝いたします。

【すもう会】

- ・ 子どもたちは目の前のおすもうさんに大興奮していました。土俵でおすもうさんを相手に相撲をとる時の子どもたちの表情はみんな真剣そのものでした。特別支援学校の子どもたちも参加されていて、お互いに応援する姿はとてもほほえましかったです。